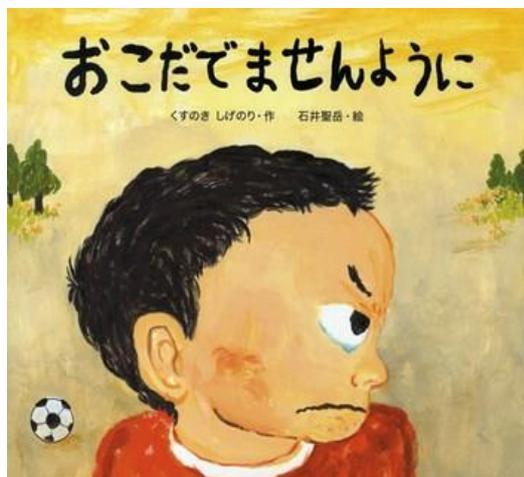




『おこだてませんように』

(作：くすのき しげのり 絵：石井 聖岳 / 小学館)



「ぼくは、いつもおこられる。いえでもがっこうでも…」いつも怒られてばかりいる男の子が、七夕さまの短冊に書いた願いごととは？ ほめてあげることの大切さ、子どもへのいとおしい気持ちを持ち出すことができる一冊です。



『レンタルロボット』

(作：滝井 幸代 絵：三木謙次 / 学研)



がっこう かせ みち 学校の帰り道、「ロボットかします」という店を見つけ、自分のお小遣いで 弟ロボットを手に入れた主人公。弟がほしいという願いは叶ったけれど、兄として我慢しなければならないことも出てきて…。お兄ちゃん、お姉ちゃんって大変！と思う人、兄弟げんかに悩む保護者の方、ぜひ手にとってみてください。





『さがすえほんごちゃまぜ』

(作：中垣 ゆたか / 佼成出版社)

逃げた青い鳥を追いかけていた仲良し
3人組が、ごちゃまぜの国に迷いこんで
まいます。13のごちゃまぜの国で、いろ
いろなものを探してみてください。びっしり
描かれた不思議な人達は、思い思いの事を
しているので、じっくり見るのも楽しいで
す。家族や友だちと一緒に、わいわい盛り
あがれる絵本です。

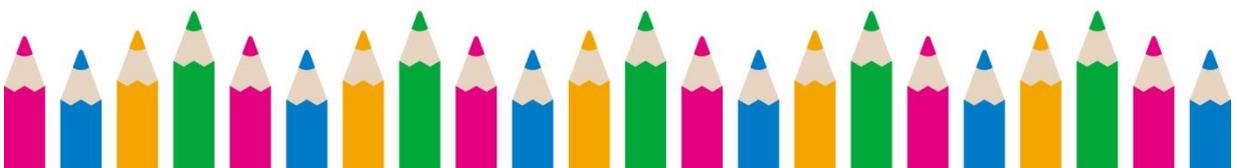


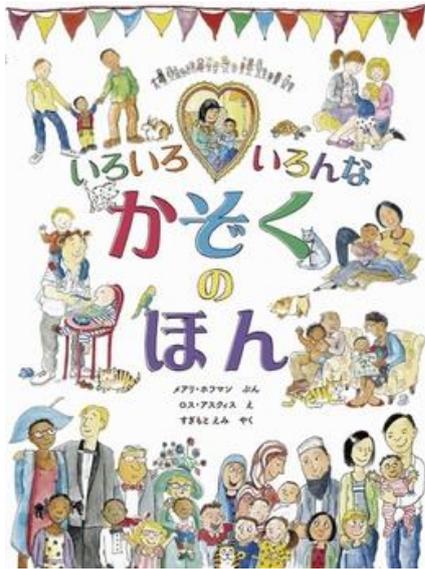
『よみきかせ いきもの しゃしんえほんシリーズ』

(構成・文 小林 みのり / 岩崎書店)



子どもたちに身近な生き物の産卵や、卵
からかえる場面など、小さな命の誕生を
大きな写真で見ることができます。低学年
にも読みやすい短い文章で、読み聞かせ
にもぴったり。生き物に興味のある人も、
そうでない人も、鮮明で美しい写真に引き
込まれること間違いなしです。



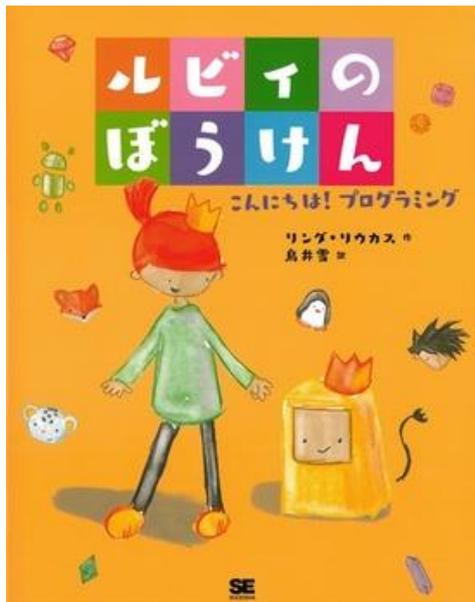


『いろいろな かぞくのほん』

(文：メアリ・ホフマン 絵：ロス・アスキス)

訳：すぎもと えみ / 少年写真新聞社)

世界中にはいろいろな家族があって、住む場所も仕事も、家族の楽しみ方もいろいろ。どのページを開いても、様々な家族や暮らし方が発見できます。楽しいイラストを見ながら、人類の多様性がわかる絵本です。



『ルビィのぼうけん こんにちは！プログラミング』

(著：リンダ リウカス 訳：鳥井 雪 / 翔泳社)

子どもがプログラミングを学ぶ糸口になるようにと作られた絵本。前半の「読み聞かせパート」と後半の「練習問題パート」にわかれていて、複雑な物事を整理し順序立てて考える、筋道を立ててわかりやすく説明するなど、プログラミングに必要な考え方を親子で楽しく学べる一冊です。

